

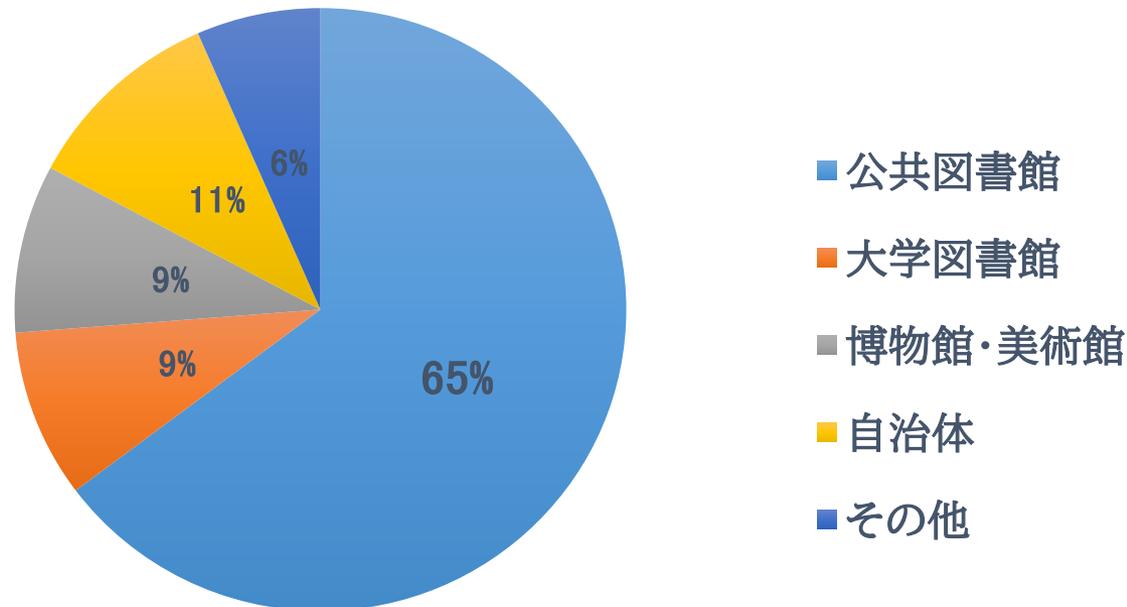
公共図書館の現状と課題

TRC-ADEAC株式会社

田山 健二

ADEACの現状

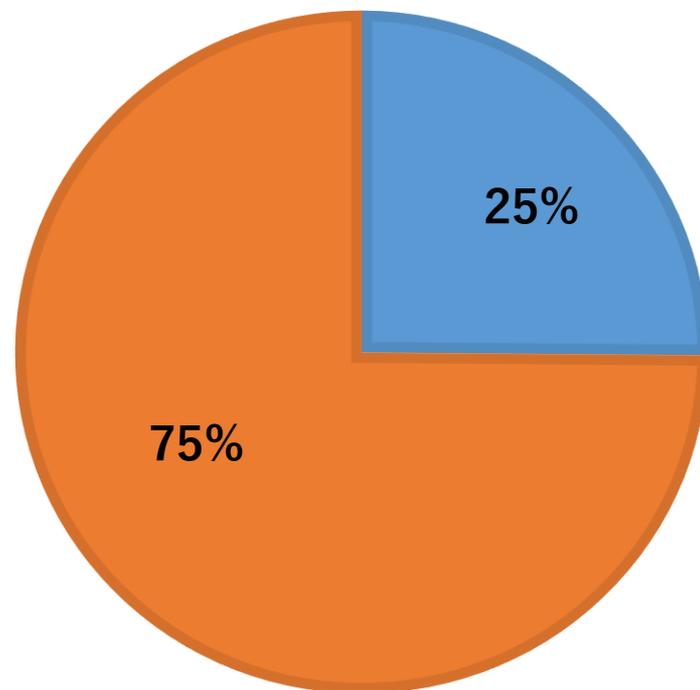
デジタルアーカイブシステムADEACは、地域のさまざまな文化資源をデジタル化し、有効に活用できるようにするためのクラウド型プラットフォームシステムです。
現在**122機関**、約10万件（うち画像あり6万件）のデータをネット上に公開しています。ジャパンサーチとも連携しています。



公共図書館における DA取り組み状況

■ 対応中 ■ 未対応

TRC受託公共図書館は、
自治体ベースで 195
うちDA対応中は 49



DA業務の位置づけ

～第107回 全国図書館大会の分科会テーマを例に

第1分科会【公共図書館】 地域社会における公共図書館の存在意義

第2分科会【大学図書館】 新型コロナウイルス感染拡大と大学図書館

第3分科会【学校図書館①】 小・中学校 学びを支え心を育てる学校図書館の創造

【学校図書館②】 高等学校 コロナ禍における学校図書館の可能性

第4分科会【児童サービス】 子どもと本をつなぐ・つなげる ―変革の時代に―

第5分科会【専門図書館】 こどもとおとなの専門図書館

―地域の資源をどのように提供すべきか

第6分科会【図書館情報学教育】 学校司書モデルカリキュラムの質保証

第7分科会【著作権】 著作権法に関する動向と課題:令和3年改正著作権法を中心に

第8分科会【公共図書館プロジェクト】 MARC選択の多様性と地元書店納入の可能性

第9分科会【図書館の自由】 図書館利用のプライバシー保護

第10分科会【図書館利用教育】 情報リテラシー教育の次世代モデルに向けて

第11分科会【障害者サービス①】 利用者にとってアクセシブルな電子書籍とは

【障害者サービス②】 読書バリアフリー法における各図書館の役割

第12分科会【資料保存】 やってみよう資料保存Ⅱ－資料保存の疑問解決！

第13分科会【出版流通】 コロナ禍における情報利用行動と図書館

第14分科会【多文化サービス】 多文化サービスQ&Aを使って一步前進

第15分科会【健康情報】 認知症と図書館のバリアフリー

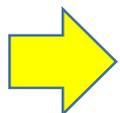
第16分科会【非正規雇用職員】 会計年度任用職員 ー職場はどう変わったのかー



デジタルアーカイブは図書館業務の範囲外？

DAの普及を阻む要因

1. 予算がない。
2. 対象となる資料（貴重な）がない。
3. 著作権があるのでデジタル化できない。
4. 本来の仕事が忙しく手が回らない。
5. 自治体の合意が得られない。



図書館員の意識改革が必要

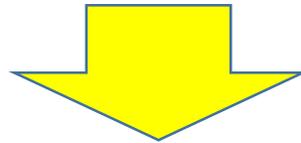
意識改革への課題

DA業務の日常化

本を買わない図書館はない。

(but…)

DAで発信しなくても問題にはならない。



図書館DXの断行

図書館DX実現のために

- 司書カリキュラムにDA論を必修化
- デジタルアーキビスト講習の積極活用
- 子どもの頃からDAに親しむ必要性

<https://trc-adeac.trc.co.jp/>